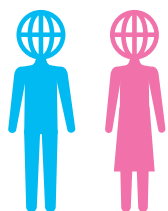


1. 内容について



グローバル人材育成・キャリア教育を目的としたICT動画教材です。



国内外で国際的な職業につき活躍されている日本人の方々の様子を収録しています。



1名あたりの収録時間は約10分と授業やワークショップなど教育活動に組み込みやすい長さです。

生い立ち

経緯

やりがい

目標

各出演者は、生い立ち・現在の仕事に至る経緯・国際的な仕事のやりがいや苦勞・今後の目標や生徒の皆さんへのメッセージをインタビュー形式で語っています。



グローバル人材のロールモデルを提示し、国際的な職業をわかりやすくより身近に考える機会となります。

2. 教材の意義について

現在、強く必要性が問われているグローバル人材の育成の支援を目的として企画・制作を行いました。キャリア教育において産業界に期待されている役割である「知的好奇心の醸成」「学習意欲を高めること」「就きたい仕事への憧れを強くさせていくこと」「仕事に必要な資質や能力などを知らせる契機」を提供します。また、産業界と学校教育の連携で期待される効果である「社会に必要な知識や技術を学ぶ」「学校の学習と職業との関連について理解を深めること」を促進する一つの方法として高い効果が期待できます。

3. 教材の利点と期待される効果



「職場体験」や「インターンシップ」などの体験活動と比べ、ICT動画教材は準備や実践に時間を必要としない。



国際的な仕事(海外での仕事)を実際に体験することは難しいが、ICT動画教材を活用すれば、さまざまな職業世界を知ることができる。



体験を通さなくても、自分たちの生活と職業の関係を考える契機になる。国際的な職業に対する基礎的な知識・理解を得ることができる。



職業に対する興味・関心を抱く過程で自己理解を深めることができる。

知識
ルール



技能
マナー

国際社会で働く際の必要な知識や技能の一端を学ぶことができる。また、社会的(グローバルな意味も含め)なルールやマナーを知るきっかけにもなり、社会的自立意識が芽生えることが期待できる。

4. 教科への展開

総合的な学習 より広い視野に立ったキャリア教育の一環として。

英語科 外国語を勉強する意義とその先にある職業観の育成。

社会科 出演者の滞在国を取り上げ歴史、地理、日本との関わり等の理解を深める。

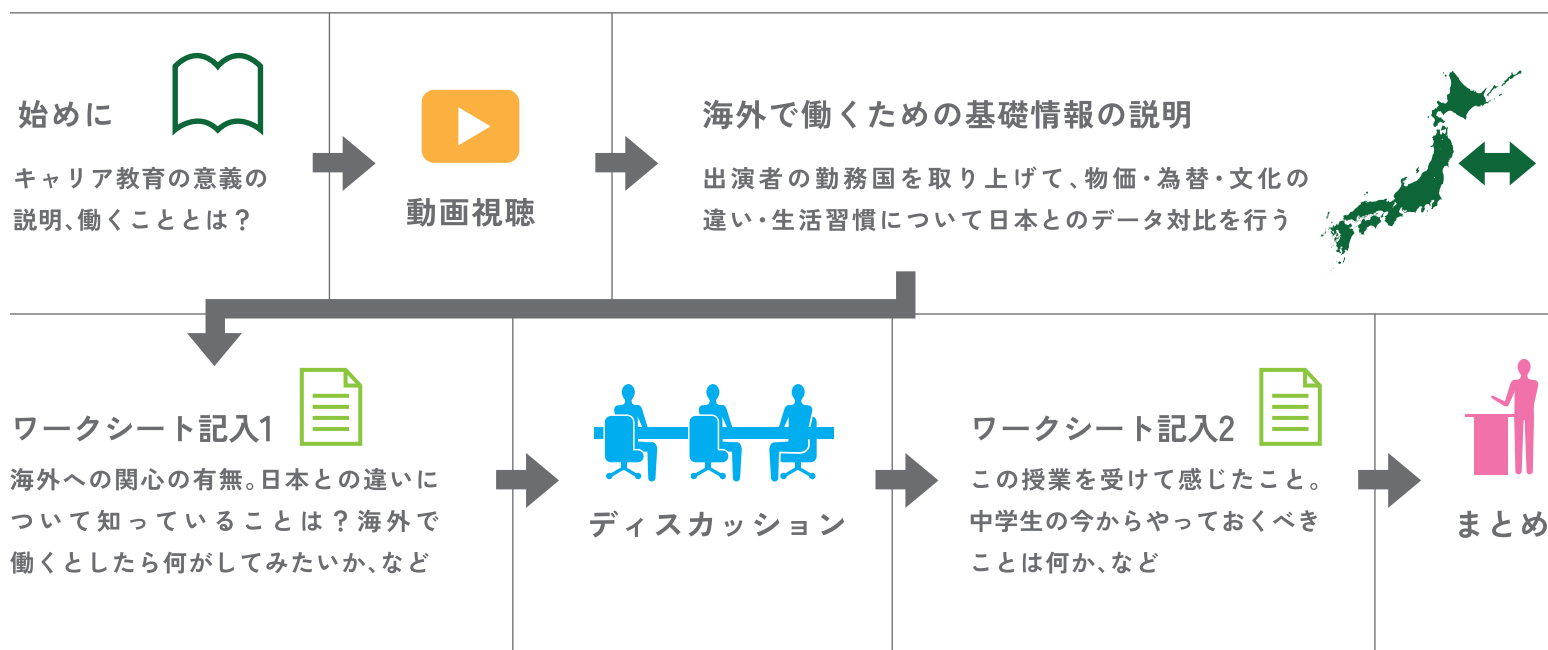
道徳 異文化や異なる価値観への理解を深める。

理科 理科系の出演者を紹介することによる将来の科学者・化学者等を育成。

技術・家庭 モノづくりにかかわる出演者を紹介することによる教科学習と職業観の一致。

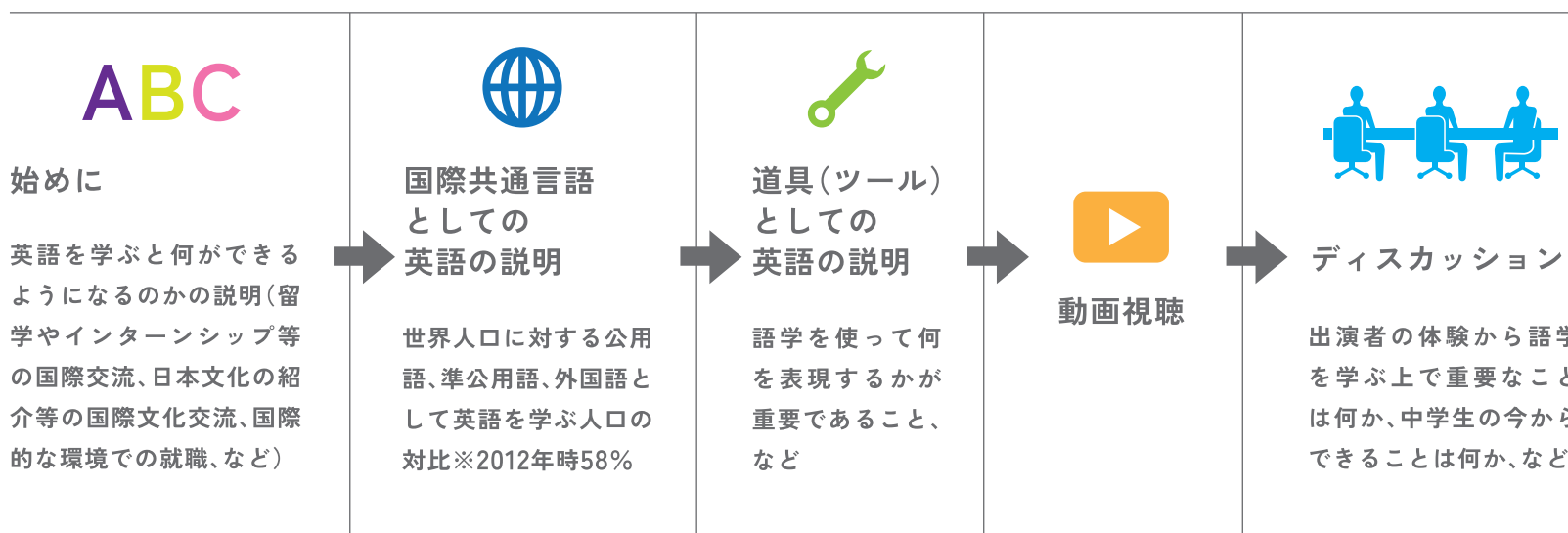
5. 具体的な展開例(総合的な学習・英語科・社会科)

総合的な学習 より広い視野に立ったキャリア教育の一環として(グローバルキャリア教育)



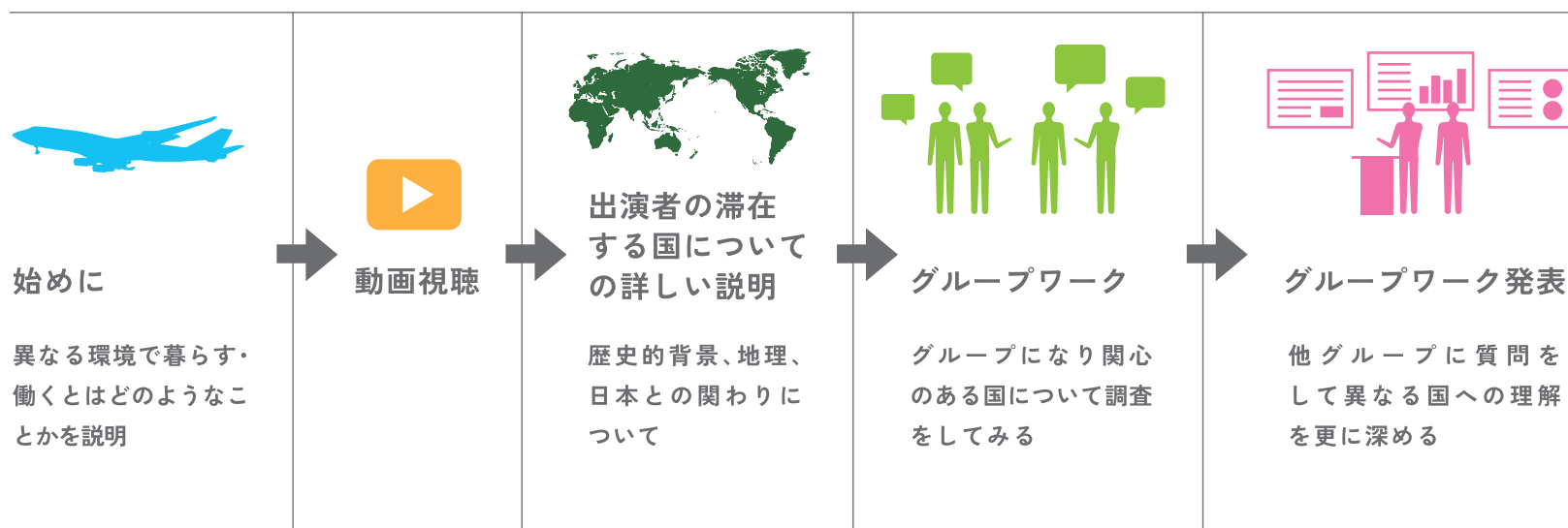
5. 具体的な展開例（総合的な学習・英語科・社会科）

英語科 外国語を学ぶ意義とその先にある職業観の育成



5. 具体的な展開例（総合的な学習・英語科・社会科）

社会科 出演者の滞在国を取り上げ、歴史・地理・日本との関わり等の理解を深める。



※展開例では動画をはじめから通して視聴いただく提案をしていますが、途中で止めてハイライトすべき点を確認することも有効な利用方法です。